

エコ未来って何？

4つの柱で環境に配慮した取り組みのことが

① 創エネ

再生可能なエネルギーの積極的な導入

② 省エネ

一歩進んだ省エネルギーの推進

③ エコ実感

お客様がエコを実感できるように施設の整備

④ 環境調和

人と環境の調和により活気を創出

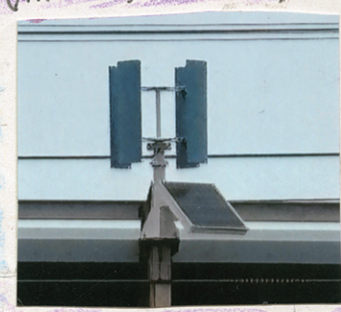
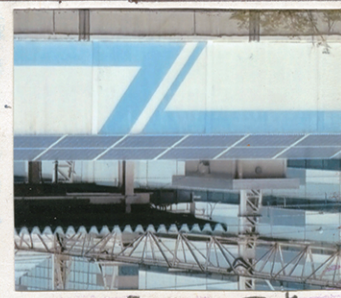


14の駅でエコステに取り組んでいる。

ぼくの住む千葉県では海浜幕張駅でエコステにとりくんでいる。

① 創エネ

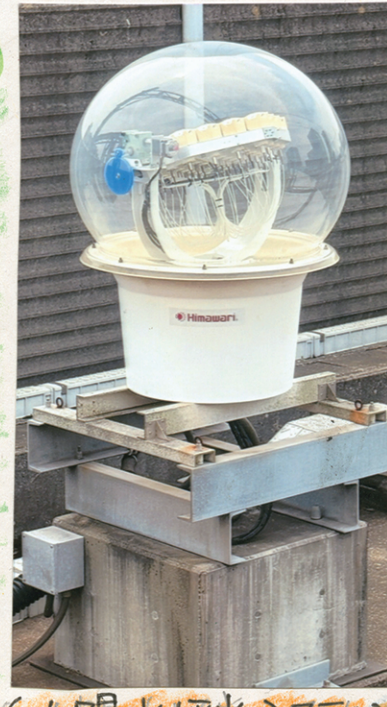
・太陽光発電
・風力発電(海風を利用)



化石燃料にまわらないエネルギーを創出する取り組み

③ エコ実感

・太陽光採光システム



どんな取り組みをしているのか調べてみました

② 省エネ

・LED化
・空調設備の効率化



消費エネルギーを削減する取り組み

④ 環境調和

・改札内緑化
・へき面緑化



駅舎などの緑化を増やし自然環境との関わりを重視した取り組み



電車でエコな乗り物？

排出物の種類	鉄道	バス	航空	自動車
CO2排出量 (1人1kmあたり)	17	57	98	130

1人を1km運ぶ時に排出するCO2が、一番少ない乗り物は電車で、環境負荷が小さい乗り物です。

天気予報をもとに太陽光発電と風力発電の発電量を予測し、駅構内の照明や空調を最適に制御できるシステム

ハイブリット車両の開発

水素燃料電池車や燃料電池車など、省エネな車両の開発が進んでいます。ハイブリット車両は、ガソリンエンジンと電動機を組み合わせた車両で、燃費が良く、環境に優しいです。

インタビュー

海浜幕張駅のエコステの設備は海風を利用した風力発電など駅の特徴を活かした設備が見え、環境やエコの事を考えるきっかけになっています。

駅員 高橋 和晴

編集後記

JR東日本は電車だけでなく、駅周辺の環境のことも考えた取り組みをしています。この取り組みが、駅を取り組んでいることが、みんなの生活に活かされています。